



事務局第8号

平成23年4月14日

日本ペット訪問火葬協会 会員各位

日本ペット訪問火葬協会 事務局

## 平成23年度 日本ペット訪問火葬協会主催 セミナーのご報告

拝啓 会員の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格段のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、平成23年4月13日(水)に日本青年館ホテルに於いて、当会主催のペット訪問火葬業者向けセミナーを開催いたしました。ここにそのご報告をさせていただきます。

なお、ご質問やご要望等がございましたら、事務局までご連絡をくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

### 記

1. 日時 平成23年4月13日(水) 14:00~16:45 終了は15分ほど遅延

2. 会場 日本青年館ホテル 502号会議室

3. 参加者 26社 30名(会員 7社、一般参加 19社)

### 4. プログラム

基調講演「環境省・東京都におけるペット火葬の規制化の動向」

講師：株式会社メッツ研究所 矢坂良雄様

特別講演「動物の死後と供養について」

講師：浄土宗総本山 知恩院 常任布教師

株式会社ワンハート・コミュニケーション 田中龍彦様

議題 「地方自治体の条例について」

A. 火葬炉の構造基準の動向

B. 条例の施行状況(一部地域)

議題 「日本ペット訪問火葬協会の役割について」

議題 共に、講師：日本ペット訪問火葬協会 会員



## 5. 概要

セミナーには会員の他に、首都圏を中心としたペット訪問火葬業者に参加を勧誘し、当該地域以外にも群馬・山梨・愛知・大阪・兵庫から、全26社が出席した。

当日、無連絡不参加は1社のみ

基調講演「環境省・東京都におけるペット火葬の規制化の動向」においては、参加者より行政のペット葬儀業界（特にペット訪問火葬業）の認識度や、規制化の具体的な動向について質問があった。また、他業界（トラック業界、霊柩車運行事業者等）の例を参考に、ペット訪問火葬業界の進むべき方向性を講師の矢坂氏からご説明いただいた。

特別講演「動物の死後と供養について」においては、講師の田中氏より、お寺とペット訪問火葬の強固な関係の必要性について説明があり、参加者より多数の質問があった。

議題 「地方自治体の条例について」

A. 「火葬炉の構造基準の動向」は、会員で火葬炉メーカーである「サントイ株式会社」の藤井より専門的な報告を行った。

B. 「条例の施行状況（一部地域）」は、会員の「さいたまペットセレモニー」の藤原より、埼玉県を中心とした市区町村の条例の施行状況の報告があった。

議題 「日本ペット訪問火葬協会の役割について」は、会員で事務局の「ペットP a P a」の高橋が、参加者からペット訪問火葬業界や当会への要望を聞き、これからの在り方について説明をした。

## 6. 今後の予定

同様なセミナーを、関西地区で開催する（5月下旬を予定）。

ペット訪問火葬業者の総意として意見が出せる団体を目指し、会員数を全国的に増やさなければならない。

そのため業務運営基準を修正し新規会員を募り、今後発生する様々な問題の解決を、業界全体で図る。

臨時総会の開催（時期未定）

目的としては、

業務運営基準、定款の修正のため

新規会員を含めた新体制（新執行部）を発足させるため

以上